

あさくち

議会だより

No.36

平成29年
12月定例会
平成30年1月1日発行



- ・ 新年のごあいさつ ②
- ・ 12月定例会 主な議案 ③
- ・ 浅回市の家計簿 決算認定 ④
- ・ 議会報告会を開催 ⑧
- ・ 市政を問う！一般質問 ⑨

新年のごあいさつ



浅口市議会議長
中西 美治

明けましておめでと
うございます。市民の
皆様におかれましては、
希望に満ちた新年を健
やかに迎えのことに

お慶び申し上げます。また平素より市議会に對しましてご
理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて昨年、浅口市では、これからの10年の指針となる第
2次浅口市総合計画が策定されました。この計画は、少子
高齢化や人口減少といった諸問題、防災・減災対策などの
課題に對して、浅口市の強みを活用し、地域を担う人材の
育成、地域間連携などを推進することで、だれもが明るい
夢や希望を見出すことができるまちを目指すという最上位
計画であります。

現在は、安定的な行財政基盤を維持するという一方で、
本庁・総合支所（分室）のあり方の見直しの検討に取り組ん
でおり、本年には基本計画が策定される予定であります。
市議会としましては、市民の皆様の声を市政に反映すべ
く、行財政運営について厳しくチェックするだけでなく、
市民福祉の向上に議員一同全力で政策提案に取り組んでま
いります。

結びにあたり、新しい年が皆様にとって幸多い年になり
ますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

12月定例会は、11月28日に招集され、12月14日までの
17日間の会期で行われました。

12月定例会

補正予算

- 一般会計 補正予算(第5号) 10億1,445万円 (第6号) 1,960万円
補正後総額148億8,381万円(対前年同期比△4.7%)

歳出の主なもの

事業名	事業の概要	金額
障害者自立支援事業	障害者(児)が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な障害福祉サービスに係る給付	4,338万円
障害児通所給付事業	障害児の通所(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援)に対する給付	4,113万円
遙照山総合公園施設整備事業	利用者の増加や利便性の向上を図るため、遙照山総合公園施設等を整備	1,985万円
地域経済循環創造事業	地域経済の循環効果を創出するため、都市公園施設を活用する民間事業者に対し交付金を交付	4,000万円
大雨災害復旧事業	大雨災害による被災箇所の災害復旧	300万円
財政調整基金積立金	浅口工業団地A地区売払収入等を財政調整基金へ積立	7億7,299万円

○特別会計・企業会計

会計名	主な内容	補正額
国民健康保険	過年度歳入返還金の発生など	114万円
後期高齢者医療	保険料還付金の増など	41万円
介護保険	制度改正に伴うシステム改修事業費の増など	296万円
公共下水道事業	会計間の人事異動等に伴う人件費の増	562万円
工業団地開発事業	浅口工業団地A地区売払収入に伴う他会計繰出金の増など	7億6,179万円
水道事業	会計間の人事異動等に伴う人件費の増	75万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

主な議案

条例

○職員の子育て休業等に関する条例の一部改正
【原案可決】

「雇用保険法等の一部を改正する法律の施行による地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、非常勤職員の子育て休業を子が2歳に達する日まで延長することができる場合の規定を整備するもの。

○税条例の一部改正

【原案可決】

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税における控除対象配偶者の定義変更等の改正を行うもの。

○過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正

【原案可決】

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、対象業種のうち情報通信技術利用事業を廃止し、農林水産物等販売業を追加する等の改正を行うもの。

○企業立地等を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
【原案可決】

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」の一部改正に伴い、題名及び引用する法令名、用語等の改正を行うもの。

○都市公園条例の一部改正

【原案可決】

逢照山総合公園の公園施設の有効活用を行い来園者の増加を図るため、テニスコート及びBMXコースの用途を見直すことに伴い、有料施設から除くもの。



テニスコート

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

【原案可決】

一般職の職員の一時金を引き上げる人事院勧告を受け、特別職の一時金の支給月数を01月引き上げ、年間43月とするもの。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

【原案可決】

人事院勧告を受け、職員の給料表の改定及び一時金の支給月数を01月引き上げ、年間44月とするもの。

人事

○副市長に松田勝久氏を選任

【同意】

2人目の副市長に松田勝久氏を選任することに同意しました。

任期は、平成30年1月1日から平成33年12月31日まで。



松田勝久氏

契約

○工事協定の変更

【原案可決】

公共下水道金光浄化センターの改築工事委託に関する協定を2040万円減額し、1億4560万円とするもの。



金光浄化センター

その他

○財産の処分

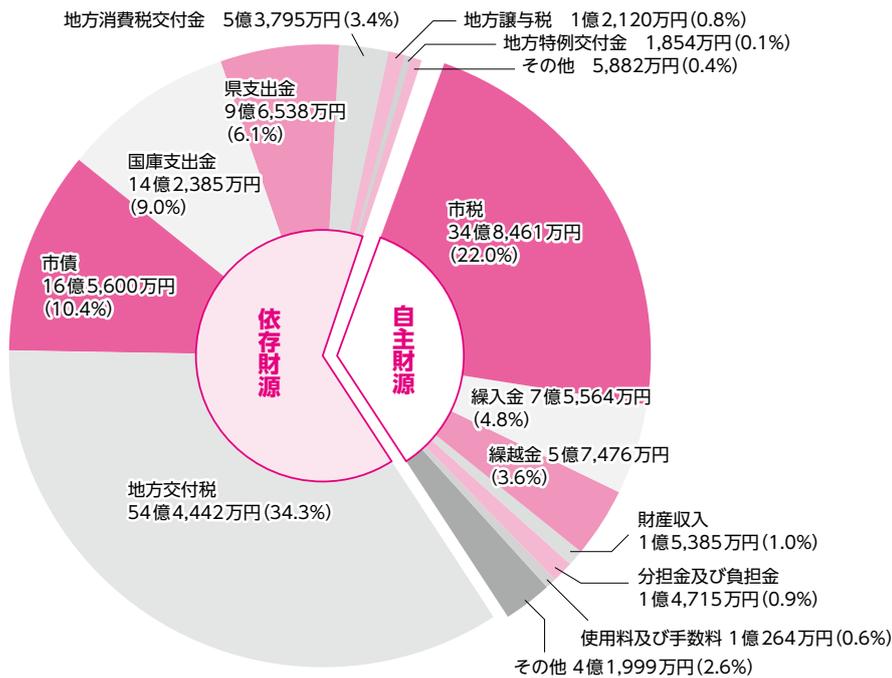
【原案可決】

浅口工業団地A地区を明星産商株式会社にて7億6877万7500円で売却するもの。

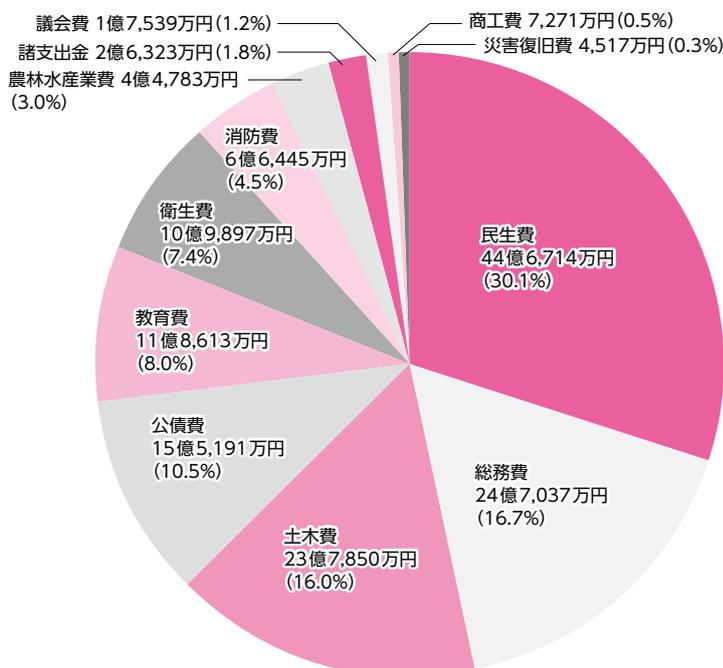
一般会計決算を認定

(金額は1万円未満を切り捨てています。)

歳入 158億6,484万円



歳出 148億2,184万円



9月定例会に上程された平成28年度決算の認定議案10件については、閉会中に各常任委員会で慎重に審査し、12月定例会初日にすべての決算を認定しました。
 なお、実質収支額は一般会計では9億6496万円の黒字となりました。(なお、歳入歳出のうち5億3000万円を基金に繰り入れます。)

浅口市の家計簿 平成28年度

市民一人あたりの使いみち

年間 約423,227円

民生費

127,556円



子ども・高齢者・障害者などへの福祉充実に

総務費

70,540円



市役所の維持管理、戸籍・徴税・選挙・監査などに

土木費

67,916円



公共施設（道路・河川・公園など）の建設や維持管理に

公債費

44,314円



市債（借入金）の返済に

教育費

33,869円



幼稚園・小中学校や社会教育などの教育関係費に

衛生費

31,380円



健康診断、予防接種や環境保全やごみ・し尿処理に

消防費

18,973円



消防・救急活動や防災に

農林水産業費

12,788円



水路や農道・漁港の管理など、農業・漁業などの振興に

議会費

5,008円



議会の運営に

商工費

2,076円



産業振興や観光事業に

その他

8,806円



基金費など

※小数点第1位を四捨五入しています。

人口/35,021人
(平成29年3月末日)

平成28年度 特別会計・企業会計決算額

(金額は1万円未満切り捨てのため差し引き額が一致していません)

区 分		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
特別 会計	国民健康保険	51億9,424万円	47億6,651万円	4億2,772万円
	後期高齢者医療	5億2,888万円	5億2,888万円	0万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,122万円	964万円	157万円
	介護保険	35億1,948万円	33億3,866万円	1億8,082万円
	公共下水道事業	19億6,966万円	19億983万円	5,983万円
	畑地かんがい給水事業	1,432万円	1,038万円	394万円
	益坂財産区	716万円	550万円	165万円
	工業団地開発事業	5億2,369万円	5億341万円	2,027万円
水道事業会計		9億8,341万円	9億6,999万円	1,341万円

※歳入歳出差引額には、翌年度へ繰り越すべき財源が含まれています。
 ※水道事業会計は積立金(利益剰余金)を取り崩し、繰り入れています。

決算審査の質疑・意見(要旨)

一般会計

問 個人番号カードは何人くらい登録されているか。

答 10月末で3097件。



個人番号カード

問 160億円という全体の予算の中で、9億6000万円が収入として残っている。ここ数年の状況は。

答 経費の節約や入札残の関係で残ったもので、例年8億円から10億円くらいで推移している。

問 5億3000万円を財政調整基金に積み立てるが、

基金は総額いくらになるか。

答 積み立てして61億4500万円。

畑地かんがい給水事業会計

問 現在どれくらい活用しているのか。今後の見通しは。

答 面積約17haに対し、294件の利用がある。畑かんの利用が開始されてから休耕農地が半分以上に増えている。有効利用を考えた。

水道事業会計

問 有収率が悪くなっているが。

答 昨年度の漏水調査で、金光の里見川より北で13件の漏水を発見した。有収率が下がっているのは、それが影響していると考えている。

市民と意見交換 議会報告会を開催



寄島会場

議会基本条例に基づき、市民の皆様と意見交換を行うため、議会報告会を開催しました。

本年度は、市内3会場で「総合計画の概要について」、「金光駅周辺整備事業について」、「市内進出企業の動向」の4テーマについて報告し、ご意見をいただきました。皆様からいただいたご意見は、今後の議会審議や市政への提言の参考とさせていただきます。

主なご意見

総合計画の概要について

- 人口減少に歯止めをかける議論がどの程度されているか。
- 協議会型住民自治組織に対する議会での取り組みや提言は。

都市計画区域について

- 線引きを外すことは決まっているのか。
- 市街化調整区域の田んぼの固定資産税は上がるのか。

金光駅周辺整備事業について

- 駅南側の橋から西の方が狭くなっている。整備しておかないと、出入りに不便があるのでは。
- 完成予想図以外のところも、もう少し広域に検討してもらいたい。

市内進出企業の動向

- 何名くらい宿泊できる施設が遙照山総合公園に予定されているのか。
- 遙照山ホテルの土地の活用を考えるべきでは。

市議会に対する「ご意見・ご要望」

- 定数削減は来年4月からののに、なぜ10月から報酬を上げるのか。
- 報酬を上げる際、第3者機関や市民の意見を聞くべき。
- 定例会の質問内容をウェブサイトに。
- 女性の議員が必要では。
- 議会報告会にもっと市民が参加するよう努力を。

日時	会場	参加者	出席議員
10月29日(日) 10:00~	鴨方会場 健康福祉センター	8人	福田 玄 伊澤 誠 佐藤 正人 竹本 幸久
11月4日(土) 10:00~	寄島会場 寄島公民館	21人	平田 襄二 桑野 和夫 中西 美治 柚木 毅
11月4日(土) 13:30~	金光会場 金光公民館	8人	大西 恒夫 田口桂一郎 井上 邦男 大西 洋平

※竹本幸久議員は、寄島会場、金光会場に出席

詳しくはwebへ

浅口市議会



一般質問 市政を問う!

議員が市政全般に対して、執行機関（市長や教育委員会）にその執行の状況や将来の方針、市民生活に関わる事項等について質問することを一般質問といいます。

12月定例会では、8人の議員が一般質問で市政を質しました。

質問者	質問項目	ページ
香取良勝	○学童保育に違法はないか	10
佐藤正人	○避難所表示板を分かりやすいものに ○河川堤防の雑木伐採・草刈を	10
田口桂一郎	○市長2期8年の政策の振り返りと次期市政の舵取りの意志は	11
桑野和夫	○中小企業と商店等の振興策は ○子育て支援施策の充実を	11
柚木毅	○朝市で市の連帯感を ○過去の質問を再度質す	12
大西恒夫	○魅力ある独自の教育を ○藤井永喜雄氏に感謝の気持ちを ○畑地かんがい給水施設の有効活用を	12
福田玄	○IT（情報通信技術）を活用した行財政改革を ○ペーパーレス会議の導入を	13
伊澤誠	○防災力向上のため、防災士の育成を ○被災者生活再建支援制度の創設を ○自主防災組織の結成促進を ○防災訓練への参加要請を ○備蓄品の補充状況は	13



香取 良勝

質問項目

- 学童保育に違法はないか

学童保育に違法はないか

問 9月議会で質問した学童保育の違法性について再度問う。

なぜ土曜日に指導員がいらないのか。私がおかしいと指摘した時点から指導員だけ置くようになった。いないのは違法だ。国の指針が出ているのではないか。虐待があるのを知っているか。

答 違法があるとは思っていない。再度現場を確認した。指導員のいないことがないよう再度徹底した。虐待の報告はない。

問 何もかも隠そうとしている。開示請求したときは真っ黒。一般人が見られるものがなぜ個人情報なのか。保護者は持っている。9月の議事録も質問した人間の名前が全部〇〇。公文書偽造だ。

答 行政文書は情報公開条例によって公表しており不開示情報は出せない。議事録は渡すとき

のミスで、正しいものを後日お渡しした。

問 国の指針で免許がない人は840円、ある人は940円。きびつ子では、なぜ免許がない人が940円、ある人が900円なのか。医者でない者が医者をしていけると同じだ。

答 法により平成32年3月31日までに研修修了見込みの方は、みなし規定で支援員として扱うことができる。賃金は各クラブで職種や経験年数により決定。市は補助金を出しており、その範囲内で運営している。

問 国の指針が出た平成27年から2年間、何もしていない。研修に行かない者に給料を払う必要があるのか。

答 平成32年度までに法に則った形にする指導をしており、研修を受けるよう積極的に働きかけたい。



佐藤 正人

質問項目

- 避難所表示板を分かりやすいものに
- 河川堤防の雑木伐採・草刈を

避難所表示板を分かりやすいものに

問 平成25年の災害対策基本法の改正に伴い、避難所表示板を新たに設置又はリニューアルする自治体がある。本市でも避難区分が一目で分かるように新設してはどうか。

答 避難所の表示板は、誰が見ても分かるということは大変重要であると認識しているが、平成19年度までに整備した表示板があるため、現段階では新たに整備する予定はない。

今後、老朽化などにより更新を行う場合は、災害種別ごとの図記号を用いた表示板を整備していきたい。

によって被害が拡大する傾向があるが、その対策は。

答 市内河川は県が管理する2級河川と市が管理する川幅の広い河川、溝、水路と表現される川幅の狭い河川がある。

川幅の狭い河川は地域の清掃作業の中で、それぞれの河川の不具合を報告いただき対応している。

県が管理する河川については、現地確認を行い、改善要望している。今年度は、里見川の新八重橋から上流や金光病院付近のしゅんせつ、竹川の八重から下竹、新幹線上流付近から山陽本線付近の樹木伐採、六条院東を流れる堅川の市道大島線より上流の樹木伐採などをしてもらうことになっている。

県河川には、一定の条件を満たすと草刈り等の補助金が出るアダプト制度がある。現在、市内26団体がアダプト制度を利用している。

河川堤防の雑木伐採・草刈を

問 市内の河川の堤防に雑木や雑草が生い茂っている状況が見受けられる。最近の水害でも流木



田口桂一郎

質問項目

- 市長2期8年の政策の振り返りと次期市政の舵取りの意思は

市長2期8年の政策の振り返りと次期市政の舵取りの意思は

問 私は23年間にわたり議員を務め、地域の振興のために全身全霊を傾けてきた。平成の市町村合併に携わり、当時の議員・職員とともに大変な作業をした。

合併に携わった者として、「合併して良い町ができた。浅口市ができて良かった。」と市民に言われるようこれまで政治に取り組んできた。浅口市が誕生し、旧町からの課題も着実に成果が上がっている。市の礎が整ってきた今、議員の席を退き、この機に後進に道を譲るべきと考えている。

市長は、公約であった市内循環バスの実現や、学力向上への取り組み、給食センターの完成、さらに子育て支援策も実を結んでいる。ご自身でこれまでの政策をどう捉えているか。また、市長は市政に対する気力があると感じており、引き続き舵取り

されることが意思と推察する。その気持ちと、今後の市政運営の抱負をお聞きする。

答 政治の課題と解決策は現場にあると、現場主義をモットーに積極的に市民の皆様の声に耳を傾け、全力でさまざまな政策に取り組んできた。

これまでの7年半を振り返ると、市民の皆様と約束した政策は、完全に実施できたものもあれば道半ばのものもある。しかし、多くの政策への取り組みに着手することができたことは、市民の皆様、議員の皆様のご協力の賜物であると思っている。

引き続き、市民の皆様の信任をいただくことができるなら、「合併して良かった。浅口市が誕生して良かった。」と言われるよう、キラリと光る浅口市の未来創造の実現に向け、全身全霊を傾け、職務に取り組んでまいります。



桑野 和夫

質問項目

- 中小企業と商店等の振興策は
- 子育て支援策の充実を

中小企業と商店等の振興策は

問 市内の中小企業と商店等の動向は。地域の業者を応援するための方策は。

答 国の経済センサス活動調査の結果で平成24年と平成28年の結果では、事業所数は61、従業者数は447人の減少。卸売業、小売業は7の減少となっている。

実施中の支援策としては、小規模企業対策資金保証融資制度、中小企業設備資金利子補給制度がある。平成27年度からは中小企業成長支援事業補助制度を創設した。

また、平成28年度には土産開発支援事業を実施し、4つの土産物開発を支援している。

問 中小企業振興条例の制定の検討はしたのか。

答 小規模企業振興基本法の制定により小規模企業の位置づけを検討している自治体もある。近

隣市町の動向やその効果等を引き続き研究したい。

子育て支援策の充実を

問 本市の待機児童と育休退園の状況は。それらを根本的になくすために必要な対策をとってほしいがどうか。

答 待機児童は現在いない。保留児童は17名、育休退園者は6名である。寄島こども園や六条院こども園の開園や金光学園幼稚園のこども園移行などにより、保育の受け皿が拡大した。はちまんこども園の誘致も待機児童の解消につながった。

また、市では、出産日から2か月であった継続入所を6か月に本年4月から拡大した。小学校就学前の継続入所も国の基準の5歳児に加え、4歳児まで対象とした。

子育て、共働きしやすい環境づくりに積極的に取り組んでいきたい。



柚木 毅

質問項目

- 朝市で市の連帯感を
- 過去の質問を再度質す

朝市で市の連帯感を

問 市の一体感醸成のため、市全体に呼びかけて朝市を開き、地域間交流や地域の活性化につなげては。

答 近年多くの地域で各種団体が中心となって開催され、行政は活動補助金や広報等の協力が行われているのが一般的。住民の交流や連帯感を高めるユニークな取り組みは、「あさくち未来デッサン」等補助金や地域おこし協力隊等人的支援と併せ、協働の視点で応援したい。

過去の質問を再度質す

問 自主防災組織の設立状況と今後の方針は。協議会の結成は前向きに検討するとの答弁が以前あったがどうか。

答 11月末現在55団体。設立に向けて相談を受けている団体が11団体。地道に地域へ出向き、設立に向けた説明会を行うなど積

極的に啓発したい。

協議会があれば組織間の連携や情報交換ができて有効である。今後の状況を勘案して検討したい。

問

行政改革の基本的な考え方や進捗は。財政改革について新年度の予算編成方針と職員の意識改革や市民サービスについて問う。

答

第3次行政改革大綱では、基本スタンスを「市民が実感する行政経営」とし全庁で取り組んでいる。予算編成には財源の確保、費用対効果の検証等による事業の優先順位付けを徹底し創意工夫と柔軟な発想をもって取り組み、職員には日頃から事業のスクラップ&ビルドの徹底を図るよう指示している。

行財政改革は、市民の幸せに寄与するものでなくてはならない。改革の必要性を市民の皆様へ丁寧に説明し持続可能な行政経営を推進したい。



大西 恒夫

質問項目

- 魅力ある独自の教育を
- 藤井永喜雄氏に感謝の気持ちを
- 畑地かんがい給水施設の有効活用を

魅力ある独自の教育を

問 小さい時ほど言葉を感じるこころができると思う。幼稚園から英語教育を取り入れては。

答 現在6人のALTが巡回し、幼稚園・保育園・こども園では週1回、英語に親しむ活動や英語の学習指導を教員とともに行っている。

問

小中学校の連携教育の状況は。市内に小中学校と高等学校がある。これらが連携すれば良いまちづくりができるのでは。

答

学力向上No1プロジェクトの環境として幼児期から義務教育修了までの連携教育を推進しており、各中学校区で目指す子ども像を設定して、学校園で取り組んでいる。

市内に3つの高校があり良い環境にある。放課後学習支援などで小学校との連携は行っている。中学校と連携は計画中であり、効果を検証していきたい。

藤井永喜雄氏に感謝の気持ちを

問 約60年前の天文台誘致に尽力した藤井氏に感謝の気持ちを表す企画の検討は。

答 藤井氏等の尽力でこの地が天文観測適地と明らかになった。天文博物館リニューアルオープンの企画の一つとして天文台の歩みを紹介するリーフレットで先人の活躍に触れたい。

畑地かんがい給水施設の有効活用を

問 当初計画と現在の利用状況は。今後、インフラをどう活用するのか。市は指導しないのか。

答 当初計画94ha、現在の利用は約17ha。利用者の減少や施設の老朽化等で運営が厳しい。

平成24年にアボカドを試験的に植え、今年初めて収穫できた。来年度から力を入れて進めたい。



福田 玄

質問項目

- IT (情報通信技術) を活用した行財政改革を
- ペーパーレス会議の導入を

IT (情報通信技術) を活用した行財政改革を

問 本庁・支所の統廃合の議論がある。本庁・支所間でテレビ電話を採用している自治体があるが、検討してみては。

答 広島県安芸高田市、長崎市、熊本県菊池市等が設置している。地理的条件や利用内容等が異なり一概に比較はできないが、ほとんどの自治体が利用頻度は少ないとのこと。メリット・デメリットを考え、必要性や費用対効果を踏まえた上で引き続き検討したい。

問 本庁・支所間の移動手段に不安がある。ふれあい号以外にデマンドタクシーの運用を検討しては。

答 公共交通会議等でも検討された経緯があり、デマンド型ではなく、定時・定路線の運行の方が適していると考ええる。

ペーパーレス会議の導入を

問 市役所でコピー用紙や印刷に年間かかる費用は。複合機集中管理システムとは。

答 平成28年度の経費は約1000万円。

答 複合機集中管理システムとは、複合機等を一括して管理し、コピーやプリント等の使用状況の把握や集計が行えるもの。

問 ペーパーレス化を全庁的に進めたときのコスト削減額は。ペーパーレス化を進めるには庁舎内のWiFi環境の整備が必要だと思うが。

答 コスト削減の試算はできていない。導入については、他市の状況を参考にしながら研究したい。機器設備面では、ペーパーレス会議の実施に向けた一応の準備はできている。無線LANの環境整備は、ランニングコスト、セキュリティ等費用の面も含め検討したい。



伊澤 誠

質問項目

- 防災力向上のため、防災士の育成を
- 被災者生活再建支援制度の創設を
- 自主防災組織の結成促進を
- 防災訓練への参加要請を
- 備蓄品の補充状況は

防災力向上のため、防災士の育成を

問 地域の防災リーダーである防災士の市内有資格者数と活動内容は。資格取得にかかる費用への補助は。

答 10月末時点で30名。自主防災組織に所属する防災士の方々は、地域で防災知識の普及、防災訓練の実施など、地域の防災力向上のため活躍している。

答 防災士になるには講義を受け試験に合格し登録する必要があるが、費用は6万1000円。市は自主防災組織に対し防災士取得の補助として1組織あたり年6万1000円上限で補助している。個人への補助は現在ない。地域防災力の強化にはリーダーを増やすことが重要。もっと増えるよう努力したい。

問 避難場所となる小中学校の教職員の教員防災士の養成と、防災教育の内容は。

答 県が管理職対象の防災を含めた危機管理研修を行っている。管理職はこのほか、市教委からの指導により校内の体制整備や教職員の資質向上に努めている。学校での防災教育は、教科等の学習内容と絡めて発達段階に応じて指導している。

被災者生活再建支援制度の創設を

問 自然災害により生活基盤に著しい被害を受けた場合、被災者生活再建支援法の適用対象とならない被災者に対し、市独自の支援・補助する制度を創設しては。

答 県と一緒に検討する必要があるが、市単独で条例等を定めて支援・補助を行うことは困難。市では災害で被害を受けた際は、法や条例に基づき災害弔慰金の支給や災害援護資金の貸付等を行う。現行制度の範囲内で対応したい。

視察研修レポート

議会運営委員会

議会改革の取組みを調査

○10月11日～12日
山口県萩市

萩市議会では、議会改革推進のため、議員定数や議会運営全般について協議する「議会の構成・運営に関する研究会」の答申を受け、議員定数が次期改選から削減されることになり、現在、定数削減後の常任委員会の構成や所管事務等について円滑に運営できるように議会運営委員会で協議しているとのことでした。

本市においても、来年4月の改選から議員定数が2名減となるため、こうした取組みを参考とする必要があると感じました。

山口県防府市

防府市議会では、市民の意見を広く聞き、議会活動に反映させるための「議会モニター制度」や、市政に関する政策提言に反映させるための「議会懇談会」を行っているなど、議会活動の情報発信や市民参加の推進を先進的に取り組んでおり、今後の議会運営の参考となるものでした。

都市計画調査特別委員会

都市計画区域再編の先進地を調査

○10月26日～27日
山口県下関市

下関市では、平成17年の合併により区域区分が異なる2つの都市計画区域が存在していましたが、地形的、日常生活、交通や開発の動向等を踏まえ、平成24年に都市計画区域を再編。また、用途白地において、建物種類に対する制限がない状態であったため、平成24年3月から1年半かけて素案の検討、整理を行い、平成26年に特定用途制限地域の指定を行ったとのことでした。

下関市の事例

は、平成32年4月に都市計画区域の再編を目指す本市にとつて、まちづくりを進める上で参考となるものでした。



議員表彰

地方自治法施行70周年記念知事表彰

地方自治の発展に功労のあった次の方が岡山県知事表彰を受けました。

市議会議員

- 大西 洋平 (在職40年以上)
- 井上 邦男 (在職30年以上)
- 香取 良勝 (在職20年以上)
- 田口桂一郎 (在職20年以上)
- 元市議会議員
- 高橋 範昌 (在職30年以上)
- 道廣 裕子 (在職30年以上)

傍聴へお越しく下さい

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しく下さい。

なお、次回の3月定例会は、2月27日に開会予定です。

会議の日程は、2月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

表紙写真

12月7日(木)、鴨方西幼稚園の園児が、鴨方西小学校5年生のお兄さんやお姉さんと力を合わせ、一生懸命で餅をつきました。

つきあがった餅は自分たちで丸め、餡子を入れたり、きな粉をつけたりして、みんなでおいしく食べました。



広報特別委員会

- 委員長 平田襄二
- 副委員長 伊澤 誠
- 委員 福田 玄 佐藤正人
- 桑野和夫 中西美治
- 大西恒夫 大西洋平



議会だよりは再生紙を使用しています

